



インド

企業訪問調査レポート【9】:

Inthree Access Services Pvt Ltd (inthree)

～ 流通・販売 ～

■ インド — 基礎データ —

- 面積: 3,287,263平方キロメートル [日本の約8.8倍]
- 人口: 12億1,019万人 (2011年 センサス ※センサスは10年ごとに発表)
- 首都: デリー / 人口約1,675万人 (2011年 センサス)
- 名目GDP総額: 1兆6,398億ドル (2013年)
- 1人あたりのGDP(名目): 1,505ドル (2013年)
- 実質GDP成長率: 6.9% (2013年)
- 為替レート: 1ドル ≒ 60.50 インドルピー (2013年 平均値)

出所: JETROホームページ 国・地域別情報(J-FILE)「インド概況(2015年2月更新)」



■ 調査日 : 2015年 2月12日

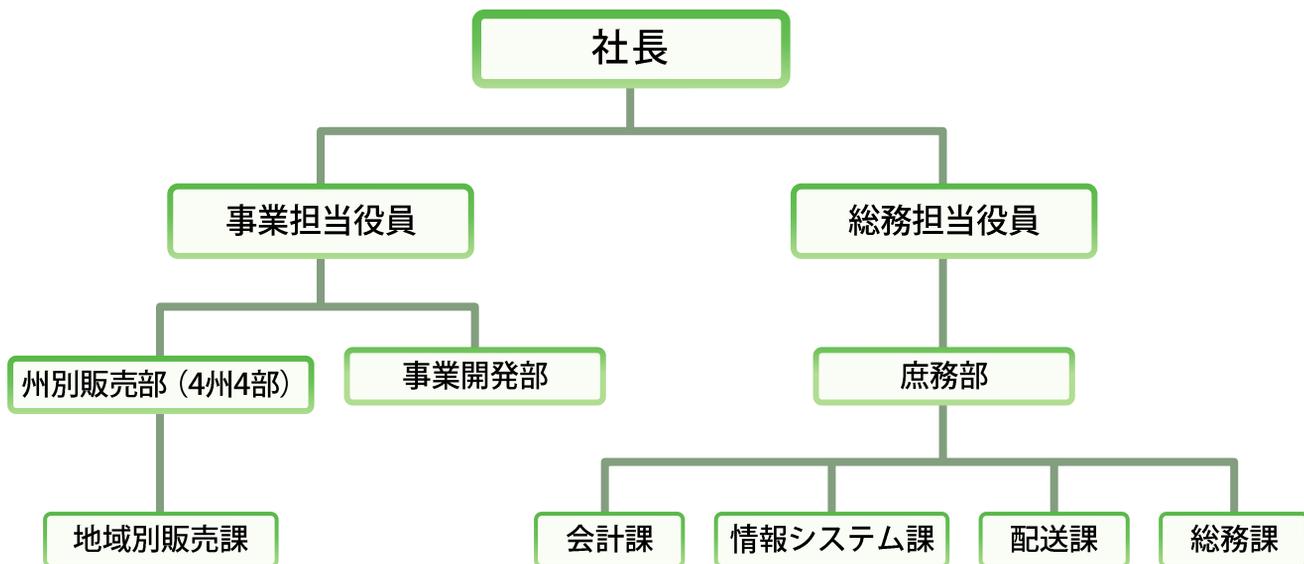
■ 分野 : 流通・販売

■ 特徴 : inthreeは、生活必需品の入手が困難な各地の村々に、内外のメーカーから調達した商品をBOP層(一部の中間所得層も含む)に提供しているCSCである。供給先は、生活必需品の入手が難しい農村部の消費者やBOP層に生活必需品を供給する自助グループなどの組織、地域を支援しているNGO、マイクロ・ファイナンスの組織など。商品の流通は、各地に点在する上記のような組織や、郵便局の配達を利用しており、多額の資金を費やして販売網を構築することなく、全国にネットワークを広げている。インドの郵便局は全国に15万5,000カ所設けられており、農村部の流通の約90%をカバーしている。制度的に運営されており、全国すべての家庭を対象として毎日配達を行っているため、郵便局の協力を得ることによりinthreeの商品配送が効果的で確実なものとなっている。

企業概要

- 社名 : Inthree Access Services Pvt Ltd
- 本社住所 : 307 B Manikkam Avenue Alwarpet Chennai 600018
- URL : www.inthreeaccess.com
- 設立年 : 2013年(業務は2009年から50万人を対象に実施)
- 従業員数 : 36人
- 拠点 : [本社]タミル・ナード州チェンナイ
本社とカルナータカ州マイソール、アーンドラ・プラデシュ州
ヴィジャヤワダ、テランガナ州の各支店にて4州をカバー
している。
- 活動方針 : 農村部住民の意識を啓発し、品質の良い商品をBOP層に
提供することによって、農村事業の実施、住民の相談
相手として助言提供、社会改善という三つの目的を達する。





inthreeは目的達成のためチームワークを大切にしており、以下の点に重点を置いた職場環境を保っている。

- 上下関係がない
- 自由率直な意思の疎通
- 常に学び、従業員のスキル向上に努める



担当役員

ビジネスの概要 ①

主な取り扱いブランドと商品

Greenlight Planet: ソーラー発電ライト(米国)

Eureka forbes: 浄水器・空気清浄機・掃除機等(インド)

Mitva Electricals and Appliances Pvt. Ltd. : LEDライト(インド)



ソーラー発電ライト(“sun king” Greenlight Planet)



LEDライト(Mitva)



売り上げ実績

(単位: 万ルピー)



農村部でのデモンストレーション

ビジネスの概要 ②

マーケティング手法

- ワークショップ、催事等の商品のキャンペーン活動
- スポンサー企業の協力の下、ウォールペインティング、バナー、ビルボードによる広告掲載
- スピーカーを招いたイベント開催、リーフレットの配布
- 他機関と連携したイベント開催 など



流通の特徴

都市から遠く離れた僻地町村の低所得住民50万人に生活必需品を安全確実に届け、生活の向上に貢献している。農村部や都市郊外の住民50万人に商品を届けるとともに、それら地域において医療と教育の改善に役立つ商品に関し、大手企業の販売促進に協力している。

併せて農村部低所得家庭の意識啓発に務め、商品への購入意欲を作り出している。

なお、農村部低所得層に関して豊富な知識を有していることから、同市場に関心を持つ企業等の情報ニーズに応えている。

協力団体・企業

● INDIA POST (インド政府・郵政局)

INDIA POSTは、国内15万5,000カ所に郵便局を設置し農村部への流通の約90%をカバー。毎日、全国すべての家庭に配達可能な、組織化された世界最大の流通ネットワークである。



● myrada

カルタナカ、タミールナドゥ、アーンドラ・プラデシュの3州において各種プログラムを展開する主要NGO。

MYRADA は貧しい人々の自助グループに協力することを目的としており、ともに行動する仲間の組織を糾合してSelf Help Affinity Groups (SHGs)を組織し、活動の先頭に立っている。

inthreeより商品を購入し、同団体のプログラムにて普及活動を行っている。



● mitva

インド人口の4分の1の人々は電気がなく闇の中で夜を過ごしている。mitvaはそうした人々に、配電が受けられなくても灯りを得られるソーラー・ライトをinthreeと提携して提供している。



● ENVIROFIT

CO₂排出削減・エネルギー効率向上関連技術で途上国協力を行う米国企業。ハインツ財団が実施しているHeinz Micronutrient Campaign (鉄分不足による幼児の貧血撲滅運動)にも協力している。

現在はinthreeとの取引はないものの、過去に同社が扱う調理用ストーブをinthreeが扱っていた。



● 四国化成工業株式会社

水処理技術で有名な日本のメーカー。インド国内の隅々に安全な飲水を届けることを目標に活動している。マーケティング手法や農村部の情報についてinthreeが同社に情報提供等協力した。



ビジネスの概要 ③

協力団体・企業 一つづき

●DURON SOLAR

2008年に設立されたインドのソーラー発電機メーカーで、研究所を保有していることから、米国のインテルキャピタルより投資を受けている。
inthreeに商品を提供している。



事業の流れ

プロジェクトごとに、まず、どの地域団体と提携するかを定め工程計画を立て、最終的に計画通りに商品が配達されているかモニタリングを行う。多数のプロジェクトを各種企業・団体と協力し実施している。

〔主な実施事業〕

- 鉄分不足による貧血対策として、ユニセフ承認の薬剤を処方の子供たちに配り、その結果をモニタリング。
- 煙の出ない薪コンロの製造企業に協力して市場調査、および市場形成。

競合他社

インドの農村部において、日用品の配荷活動を行っている団体や企業は全てライバルであると考えている。

日本企業・団体に期待すること

農村部の中学校就学年齢の子供をサポートする事業を共同で行いたい。具体的には、日本の高品質で耐久性のある文房具等の商品を農村部の子供たちに提供したいと考えている。



農村部での市場調査

編集後記

■調査を終えて

- インド国内の村落の70%は人口が2,000名以下であり、そうした人々を事業対象としている。
- 事業対象の住民は向上心にあふれており、必要に迫られた品物を求めてinthreeを利用するというより、inthreeが持っている品揃えの中から欲しいものを選んでいく感がある。



啓発活動の様子



メディアにも度々同社の活動が取り上げられている



JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。